

問1 聖徳太子が小野妹子を隋へ派遣した「遣隋使」の目的や当時の外交方針について述べた説明として、最も適切なものを選びなさい。（2026年 長野公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 中国の皇帝から王としての称号を授かり、その権威を背景に国内の豪族を統制しようとした。 | 2. 中国の皇帝に対して対等な立場での外交を求め、先進的な制度や仏教などの文化を吸収しようとした。 | 3. 朝鮮半島の百済が新羅に圧迫されていたため、隋の軍事力を借りて半島での勢力を回復しようとした。 | 4. 平城京の造営にあたり、隋の都である長安の都市計画を学ぶための専門家を招聘しようとした。 |
|---|---|---|--|

問2 飛鳥時代、推古天皇の摂政として政治を行い、国をまとめるために仏教を厚く敬うよう説いた人物は誰ですか。現存する世界最古の木造建築物とされる法隆寺を建立したことで知られる人物を選んでください。（2018年 岩手県公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 聖徳太子 | 2. 中臣鎌足 | 3. 足利尊氏 | 4. 藤原道長 |
|---------|---------|---------|---------|

問3 7世紀から10世紀初めにかけて中国を統一した唐が、当時の日本や東アジア諸国に与えた制度的な影響として、最も適切なものはどれか。（2018年 大分県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 土地や人民を国家が直接支配し、法律に基づいて統治を行う律令制度を完成させ、周辺諸国の手本となった。 | 2. 武士が政治の表舞台に立つ封建制度を確立し、日本における鎌倉幕府の成立に直接的な影響を与えた。 | 3. キリスト教の布教とともにヨーロッパの科学技術を導入し、東アジア全域に西洋文化を広めた。 | 4. 朱子学を国学として採用し、身分制度を厳格に管理する江戸幕府の統治の仕組みを構築した。 |
|--|---|--|---|

問4 7世紀後半の日本の政治情勢について、壬申の乱に勝利した天武天皇が、天皇を中心とする中央集権体制をさらに強めるために実施した制度や仕組みの説明として、適切なものはどれか。（2021年 埼玉県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|------------------------------------|--|--------------------------------------|
| 1. 豪族たちを天皇を頂点とする新たな序列に組み替えるため、八色の姓を定めた。 | 2. 有力な豪族であった蘇我氏を滅ぼし、公地公民の原則を打ち出した。 | 3. 律令を完成させ、日本で初めてとなる本格的な都である藤原京を完成させた。 | 4. 班田収授法を停止し、開墾した土地の永久私有を認める法律を制定した。 |
|---|------------------------------------|--|--------------------------------------|

問5 律令に基づく統治体制では、全国を「国・郡・里」の単位に分け、中央政府が地方を直接支配する仕組みが整えられました。この時、都から各地方へ派遣され、法や規定に基づいて徴税や裁判などの行政を担った役職の名称として正しいものはどれか。（2023年 京都公立入試 類似）

- | | | | |
|-------|-------|-------|---------|
| 1. 地頭 | 2. 国司 | 3. 守護 | 4. 検非違使 |
|-------|-------|-------|---------|

問6 6世紀半ば、朝鮮半島南西部に位置していた国から、日本へ釈迦如来像や経典が贈られたことで、仏教が公式に伝えられました。このとき、日本へ仏教を伝えた国の名称として正しいものを選びなさい。（2023年 三重公立入試 類似）

- | | | | |
|-------|--------|-------|-------|
| 1. 百済 | 2. 高句麗 | 3. 新羅 | 4. 渤海 |
|-------|--------|-------|-------|

問7 飛鳥時代、聖徳太子（厩戸王）は中国の進んだ制度や文化を取り入れるために、当時の中国の王朝であった隋に使節を派遣しました。このとき、使節として派遣された人物を次の中から選びなさい。（2020年 静岡公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|---------|----------|---------|
| 1. 小野妹子 | 2. 蘇我馬子 | 3. 中大兄皇子 | 4. 中臣鎌足 |
|---------|---------|----------|---------|

問8 現存する世界最古の木造建築である法隆寺の金堂に安置されている、釈迦三尊像などの仏像に見られる彫刻様式の特徴を説明したものとして適切なものはどれか。（2017年 岐阜公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 中国の北魏などの影響を受け、アーモンド形の目や、アルカイック・スマイルと呼ばれるかすかな微笑みが表現されている。 | 2. 平安時代の貴族の好みを反映し、寄木造の技法によって穏やかで優美な表情に仕上げられている。 | 3. 鎌倉時代の武士の力強さを象徴し、血管や筋肉の動きを写実的に表現した力強い造形である。 | 4. 唐の時代の豊かな影響を受け、丸みを帯びた顔立ちと豊満な体格が強調された写実的な様式である。 |
|---|---|---|--|

問9 聖徳太子が活躍した飛鳥時代初期の文化や制度に関する記述として、正しいものはどれですか。（2026年 奈良公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 世界最古の木造建築群とされる法隆寺が建立され、仏教を中心とする文化が栄えた。 | 2. 個人の家柄を重視し、氏姓制度に基づいて特定の氏族が世襲で高い官職を独占した。 | 3. 武士の心得を記した成文法が作られ、各地の守護や地頭がこれに従って土地を統治した。 | 4. 漢文体による十七条の憲法に加え、律（刑罰）と令（政治規定）が同時に整備された。 |
|---|---|---|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 中国の皇帝に対して対等な立場での外交を求め、先進的な制度や仏教などの文化を吸収しようとした。	聖徳太子による遣隋使の派遣は、それまでの「貢ぎ物を届けて地位を認めてもらう」形式から、中国と対等な立場で国交を結ぼうとする姿勢への転換を意味していました。小野妹子が持参した「日出づる処の天子、書を日没する処の天子に致す…」という国書の内容は、隋の煬帝を驚かせたと記録されています。
問2	答え 1 聖徳太子	推古天皇の摂政であった聖徳太子（厩戸王）は、仏教を深く信仰し、政治の柱に据えました。その象徴として奈良県に法隆寺を建立し、仏教の教えを通じて豪族たちの対立を抑え、天皇を中心とした国づくりを目指しました。中臣鎌足は大化の改新、足利尊氏は室町幕府の創設、藤原道長は平安時代の摂関政治に関わる人物です。
問3	答え 1 土地や人民を国家が直接支配し、法律に基づいて統治を行う律令制度を完成させ、周辺諸国の手本となった。	唐は律・令・格・式の法体系を整え、強力な中央集権体制を築きました。日本はこの仕組みを取り入れるために遣唐使を派遣し、大宝律令などの制定を通じて律令国家への道を歩みました。他の選択肢は、後の時代（中世や近世）の出来事や異なる文化圏の内容です。
問4	答え 1 豪族たちを天皇を頂点とする新たな序列に組み替えるため、八色の姓を定めた。	天武天皇は壬申の乱の勝利を経て、それまでの氏姓制度を再編成し、天皇を中心とした官僚体制を整えるために「八色の姓（やくさのかばね）」を定めました。これにより、豪族たちは天皇に仕える身分として明確にランク付けされることとなりました。蘇我氏を滅ぼしたのは中大兄皇子（天智天皇）らによる大化の改新の始まりであり、藤原京の完成は持統天皇の時代、土地の私有化（墾田永年私財法）は聖武天皇の時代のことです。
問5	答え 2 国司	律令体制のもとでは、中央から派遣された「国司」が、各地方の政治を担当しました。現在の地名に残る「国領」などの言葉は、国司が管理した土地に由来することが多く、地方豪族が私有地を支配する形態から、国家が土地と人民を直接支配する「公地公民」の原則に基づく体制へと移行したことを示しています。
問6	答え 1 百済	6世紀半ば（538年または552年とされる）に、百済の聖明王から日本の欽明天皇へ仏像や経典が献上されたことが、日本への仏教公伝の始まりです。百済は当時、大陸の文化を日本に伝える重要な窓口となっていました。他の選択肢のうち、高句麗は半島北部、新羅は半島東部に位置していた国であり、渤海はのちに中国東北部で興った国です。
問7	答え 1 小野妹子	聖徳太子は、天皇を中心とした国づくりを推進するために、607年に遣隋使を派遣しました。派遣された人物は隋の皇帝に国書を届け、中国の進んだ政治制度や仏教文化を日本に持ち帰る役割を担いました。他の選択肢の人物は、いずれも飛鳥時代に活躍しましたが、使節として中国へ渡った記録はありません。
問8	答え 1 中国の北魏などの影響を受け、アーモンド形の目や、アルカイク・スマイルと呼ばれるかすかな微笑みが表現されている。	飛鳥文化の仏像、特に法隆寺金堂の釈迦三尊像は、鞍作止利（止利仏師）によって制作された。中国の北魏の様式を継承しており、左右対称の幾何学的な衣のひだや、独特の微笑みを浮かべた表情にその特徴が見て取れる。
問9	答え 1 世界最古の木造建築群とされる法隆寺が建立され、仏教を中心とする文化が栄えた。	聖徳太子は十七条の憲法の制定だけでなく、推古天皇の摂政として仏教を厚く保護しました。その象徴が七世紀初めに建立された法隆寺であり、当時の進んだ建築技術や仏教文化を今に伝えています。太子は、家柄に縛られない人材登用を目指す「冠位十二階」なども定めており、それまでの氏姓制度（家柄重視）による政治からの転換を図りました。律令が本格的に整うのは後の時代になります。